

1. 点検・評価の方法について

事業評価シートは11の重点目標について作成

内部評価 教育委員会事務局において評価（各担当者）

外部評価 有識者において内部評価の検証及び課題提言

内部、外部評価をとりまとめ教育委員会報告書として承認

①内部評価

項目別評価 各事務・事業の「妥当性」、「効率性」、「有効性」について客観的に評価。
評価はAを最高値とし、Cまで3段階で評価。

ア. 妥当性 現在の町民ニーズや社会経済情勢等に照らし、事業の必要性があるかどうか、地域課題や生活課題等に対応しているかどうかを評価。

イ. 効率性 事業のコストはどうか、無駄はないか、最小の経費で最大の効果を得ているかなど、経済性・効率性の面からどうかを評価。

ウ. 有効性 能登町教育振興基本計画に掲げた目標や、教育委員会施策の実現にどの程度寄与しているかどうかを評価。

総合評価 項目別評価を勘案し、次の基準により総合的に評価。

ランク	評価の基準 内部評価、外部評価共通
A	優れた取り組みで十分な成果があり、計画どおりの事業推進が適当
B	良い取り組みで成果が上がっているが、事業の進め方に改善が必要
C	十分な成果が上がっていなく、事業規模・内容等の見直しが必要

②外部評価

委員及び委員会の開催

No.	氏名	役職	備考
1	池岸 雅弘	町社会教育委員 議長	
2	山田 芳和	町文化財保護審議会 会長	
3	小杉 直基	町校長会 代表	会長
4	浅見 敏夫	町スポーツ推進委員 委員長	

平成30年8月29日に外部評価委員会を開催し、内部評価について検証を行い評価、課題等を提言した。

2. 評価状況

項目別評価

ア 妥当性

区分	評価A	評価B	評価C
事業数	11	0	0
%	100%		

イ 効率性

区分	評価A	評価B	評価C
事業数	10	1	0
%	90%	10%	

ウ 有効性

区分	評価A	評価B	評価C
事業数	7	3	1
%	64%	27%	9%

内部総合評価

区分	評価A	評価B	評価C
事業数	7	4	0
%	64%	36%	

外部総合評価

区分	評価A	評価B	評価C
事業数	8	3	0
%	73%	27%	

別紙1

管理 番号	事務・事業名（重点目標）	担当	総合評価	頁番号
1	地域性豊かで活力ある学校教育の実現	学校教育	A	3
2	豊かな人間性を育む教育の推進	学校教育	A	7
3	学びを支える安心・安全で魅力ある学校環境の実現	学校教育	A	10
4	学校・家庭・地域が連携し、社会全体で取り組む教育力の向上	学校教育	A	14
5	共に学び触れ合う生涯学習の充実	社会教育	A	15
6	青少年の健全育成と子育て環境の充実	社会教育	B	18
7	地域文化を高める文化振興事業の充実	社会教育	A	20
8	未来に伝える文化財の保護と活用	文化財	A	21
9	健康で活力あふれた人づくりを目指す生涯スポーツの推進	スポーツ	A	23
10	スポーツを通じた多世代・地域間交流の推進	スポーツ	B	24
11	スポーツ施設の活用と整備	スポーツ	B	26